



大森六中だより

令和6年 3月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



何故学ぶか

3月9日(土)学校公開日の最終日、学習成果発表会を開催しました。始めに体育館で1・2学年の総合的な学習の時間のまとめの発表。次にシビックアクションシンポジウムにおける生徒会の発表報告。3年生の総合的な学習の時間の発表。大田区立中学校生徒海外派遣の報告を行いました。

その後1・2年生の各教室、特活室、音楽室において、シビックアクションのグループ別の発表を行い、最後にご指導いただいている東京都市大学准教授の森朋子先生から指導講評をいただきました。

グループの提案の中には、食品ロスの問題と気候変動の問題について大田区へ提案する発表もあり、そこでは行政に橋渡しいただいた大田区議会の天坂大介議員と秋山亮統括指導主事、山田良司環境清掃部長はじめ環境清掃部の方々にお越しいただきました。生徒の発表を高く評価いただくとともに、実現可能性を高めるための具体的なアドバイスをいただきました。改めてお礼申し上げます。

この学習成果発表会の開催にあたり、校長の開会のことばの内容を以下にご紹介します。

「皆さんは何故学ぶのでしょうか。それは一言でいえば幸せになるため。幸せの価値観は人それぞれですが、私は次のように考えます。それは人の役に立ち感謝

される時が幸せを感じる時であること。例えば大岡山駅前の花壇整備を行っているときに、『ありがとう』という言葉をいただくと幸せな気持ちになります。そして、役に立つ相手が多くなるほど、より大きな幸せを手に入れることができます。そして大森六中では、地球の未来を救うために何ができるかを考え行動することを学ぶ場としてシビックアクションに取り組んでいます。六中の先生方も研究に取り組み、より良い未来を創造するために必要な力を3つにまとめました。

1つ目は『これからの社会に必要なとされる知識や技能を身に着けようとする意欲』です。意欲はどうしたら沸き起こるかと言えば、それは目標が出来たとき。そして六中の目標はSDGsです。

2つ目は『多種多様な考え方を受け入れ自らの世界を広げる力』です。そのために学習の折々に学び合いの機会を設けています。

3つ目は『様々な体験を通して発想力・創造力を養い行動する力』です。この力を身に着けるために、まさにシビックアクションに取り組んでいます。」

当日の発表会では上記の一端をご覧いただきました。ご参観いただいた地域・保護者の方々からは、直接またはアンケートの中で多くの励ましのお言葉をいただきました。改めて感謝申し上げます。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

未来を創造する力—学習成果発表会—

3月9日（土）に令和5年度学習成果発表会が開催されました。今年1年間の総合的な学習の時間の集大成として毎年実施しているものです。今年度は例年の代表生徒による学習発表を行った後、昨年度から始まったシビック・アクションの報告を屋台形式の発表で実施しました。

【気候変動】【食品ロス】【平和問題】3つのテーマについて48グループに分かれて、生徒、保護者、地域の方々を対象に以下のアクションを発表しました。

- ・動画でアクション
- ・飲食店へ提案
- ・イベントでアクション
- ・ポスターでアクション
- ・大田区へ提案
- ・小学校、図書館・児童館でアクション



地域の方や大田区の方が27名ほどいらして、質問や意見をいただき、大いに盛り上がったグループが多くありました。中には部屋からはみ出して見学している姿も見受けられ、盛況でした。

ここに至るまで、まずは専門家の話を聞き、何が課題なのかを確認しました。そして課題解決のためのアクションを考え、自分たちの活動を聞いていただくための方法を検討しました。さらに依頼書を作成したり、電話で連絡を取ったりするなど準備を進めていきました。その工程の中では班の中での共通理解が足りなかったり、約束事を守れなかったり、依頼を断られたりと、様々な困難な状況も発生しました。これらの失敗も今後の学習や生き方に生かせれば良いと感じています。

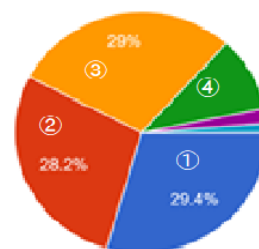
以下、シビック・アクションを振り返るアンケートから抜粋します。

「シビック・アクションを始める以前より、物事を多面的に見て、一見良さそうに見える案でも改善点や難しいところを探せるようになった。そ

れにより、より良いアクションを考え、みんなを引き付けるには何が必要なのか考えられるようになった。」

「今まではなにか社会問題について対策を考えるときに、自分ひとりのできることを多く考えていた。しかし、この学習を通して周りとの協力して行えることや大人数で行う対策についても頭に浮かぶようになった。また、考えたアクションを実行する難しさをとても感じました。交渉では〇〇を担当しましたが、返答がなかなか来ず、十分にコミュニケーションが取れなかった為困ってしまいました。そのような苦労をのりこえてアクションを実行する事ができたことは、自分にとってとてもいい経験になったと思います。」 また、以下の設問に対して、【とてもそう思う～ややそう思う】までが、86.6%を占めています。

地域や社会で起きる問題に私が取り組むことで、望ましい方向に少しでも現状を変えられる。



- ① とてもそう思う
- ② そう思う
- ③ ややそう思う
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ 全くそう思わない

今回の調査で、生徒はこの活動を通して、「地域の問題や地球全体の問題に対して、主体的に解決の糸口を探ろうとし、この先の未来をよりよいものに変えることができる」と、希望を持っていることがわかりました。よりよい未来の担い手達が成長している姿を見たような気がします。



学習成果発表会

3月9日（土）に行われた学習成果発表会で、各学年の総合的な学習の発表やこの一年間グループで取り組んできたシビック・アクションの発表をしました。シビック・アクションのテーマはグループによって異なり、食品ロスや気候変動、平和問題など様々で、どの発表のクオリティも非常に高いものでした。



各学年の総合的な学習の発表や代表生徒によるシビック・アクションの発表、海外派遣の発表



屋台形式のグループ発表

卒業遠足

3年生は、3月5日（火）に卒業遠足で横浜へ行ってきました。2月の中旬から班ごとに計画を立て、迎えた当日。途中で雨にあたるなどあいにくの天気ではありましたが、赤レンガ倉庫やマリインタワー、コスモワールドなど様々なスポットを回りながら横浜を存分に楽しみました。横浜で出会った3年生の楽しそうな笑顔が、とても印象に残っています。3年間をともに過ごした仲間たちとたくさん笑い合い、絆を深めた最後の遠足。3月19日の卒業式を前に、よい思い出の1つになったと思います。



校長先生と記念写真



観覧車の前で



町中で会いました



横浜中華街にて



日本丸



マリインタワー



壁画の前で



たくさん歩きました

